Eumunida (?) 化石予報

Preliminary Report on Fossil *Eumunida* (?)

Rikizo IMAIZUMI

今 泉 力 蔵

(東北大学教養部地学教室)

写真の化石は、長野県下伊那郡千代村米川の千代小学校校庭の北側の崖に露出する富草層群米川層（中新世）から筆者により採集されたもので、甲殻類の研究・2号に *Macrocheira* sp. の幼生を報じたが、同じ産地である。

本化石はハサミの化石も共に産しており、つのわらえび *Eumunida dofleini* GORDON に似ている。本化石を調べてゆく上に、現生種の標本を得たいと思っている。雌雄の標本が欲しい。

文献、現生種の標本の所在等について大方のご教示を得たい。同じような化石破片は金沢付近からも産しており、層位学的にも意義がある。他に、A. H. Müller の *Lehrbuch d. Paläozoologie* (1966) 第3巻の J. Roger による *Palaeomunida Lorenthey* (ハンガリヤ、始新世初期) にも似ている。